

入選 「おいしい給食」

志貴小学校 鈴木 陸生

ぼくが大好きな給食のメニューはラーメンです。お父さんやお母さんにそのことを言ったら、

「給食のこんだてに、ラーメンなんてないでしょう。」

と言いました。ぼくがお母さんにこんだて表を見せると、びっくりしていました。お父さんやお母さんが子どものときは、給食にラーメンなんて出なかったそうです。逆にぼくはびっくりしました。こんなにおいしいラーメンが出ないなんて、かわいそうだなと思いました。お母さんに

「給食にラーメンはどうやって出されるの。」

と聞かれたので、ラーメンのメンは袋で出され、スープは食かんで出されるんだよと教えてあげました。具はチャーシューを細長く切った肉と野菜とかコーンが出るときもあるよと言ったら

「いいね。給食は楽しそうだね。」

と言っていました。お母さんは昔、好ききらいが多くて給食がきらいだったそうです。でも、今思うと、教室でみんな食べた給食は楽しかったなと思うそうです。

ちなみにぼくは、給食が大好きです。なぜなら給食がいつもおいしいからです。ぼくが1年生になるとき、牛乳が大き

くなる聞き、すこし不安になりました。牛乳が好きでなかったからです。だけど、牛乳がいつもよりおいしく感じました。この牛乳のおかげで牛乳が好きになりました。それだけではありません。ぼくは、好ききらいが多かったけれども、学校の給食がおいしくて、ほとんど食べれるようになりました。それで、友達と仲良く給食を食べれるようになりました。

ぼくはこの前、家庭科でスクランブルエッグと野菜いために習ったので家で作ってみました。家族はみんなおいしいとよろこんでくれました。お母さんが、

「食べている人のことを思っているからおいしいんだよ。」

と言いました。給食がおいしいのは、給食センターのみなさんがぼくたちのことを思っているからおいしいんだなと思いました。毎日給食を作ってくれている人たちに、感謝したいなと思いました。

これからもおいしい給食が食べたいです。